

COVID-19からの学びは国境を越えて

オンライン国際協力 何ができるのか？何ができないのか？

近畿大学
安田直史

Covid-19が「国際協力」に与えた影響

- 現地に行けない
- 日本に招けない
- 国際会議を催せない
- ワークショップ・イベントをできない
 - 人が集まって、楽しく伝える、学ぶ



私たちはCOVID-19から何を学ぶのか？

(シンポジウム)

- NPO法人 ロシナンテス理事長 川原尚行氏
- JICA緒方研究所 上級研究員 牧本小枝氏

(提言)

今後国際保健協力のあり方はかなり変わっていくことが予想され、その中でICTの技術の長所短所を理解のうえでうまく活用し、「現場」+「遠隔」の最適のミックスを探し求める必要がある。

The 39th Western Regional
Conference of Japan Association
for International Health

第39回

日本国際保健医療学会

西日本地方会

「私たちはCOVID-19から何を学ぶのか？」

シンポジウム

川原尚行氏 (NPO 法人ロシナンテス)
牧本小枝氏 (JICA 緒方研究所)
安田直史 (近畿大学) ほか

Covid-19で国際保健活動にどんな影響があり、どう対応してきたのか、その経験・アイデアを共有し、今後のあり方を一緒に考えましょう。

ユースフォーラム (学生会 JAIH-S)

「医療現場での障壁やスティグマ」
上瀬 由美子 先生 (立正大学心理学部教授)
井戸田 一朗 先生 (しらかば診療所院長)

Covid-19で我々は感染者や医療従事者に対するスティグマや差別を経験してきました。これらの背景にはどのような心理的背景が潜んでいて、我々には何ができるのでしょうか。みんなで考えてみませんか。

日時

2021. 3.6 Sat

9:00 ~ 17:00

オンライン開催

大会長

安田直史 (近畿大学)

お問い合わせ
演題応募
(口演、ポスター)
参加申込は →



オンライン国際協力 何ができるの？ 何ができないの？



特に
「適正技術」と「現場主義」

「適正技術」(*appropriate technology*)

「プライマリヘルスケアにおいて、十分に自立できる医療体系を創造していくためには、「適正技術」の概念が重要である。適正技術とは、**その時、その地域において経済的、社会的かつ文化的にも適切で、人々に受け入れられるもの**を指す。

・・・

適正技術の概念は、われわれを先進国への「技術依存」から解放し、自立への方法を探るうえで非常に重要な意味を持っている。」

国際協力研究 通算25号総説(1997年4月)

• 携帯電話 の例

- 電話線架設によるインフラが不要。
- さまざまな、めざましい活用方法 (New and different way)
 - 日雇い仕事の依頼 (ナイロビのスラム)
 - 農作物の相場 (タンザニアの田舎)
 - 送金、決済 (M-Pesa)
- 2 G、3 Gのガラケーに対応
- 電気がないところでも普及 (?)

必ずしも「古い」「低レベルの」技術ということではない。

“M-PESA”

ガラケーで送金、現金引出し、電気代支払い



ガラケーでOK



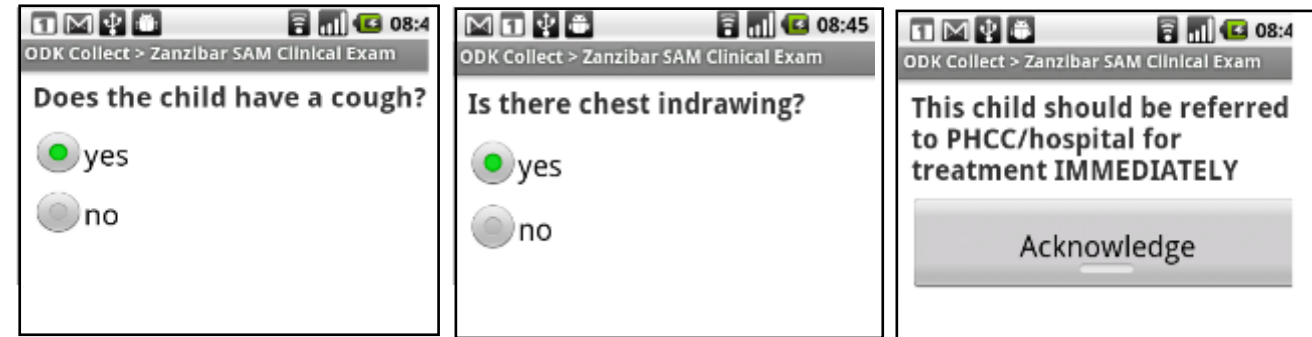
©Komatsu Noriko

M-PESAの取り扱い店（現金引き下ろし可）

国際保健分野でのモバイル(携帯)技術の活用

報告、モニタリング

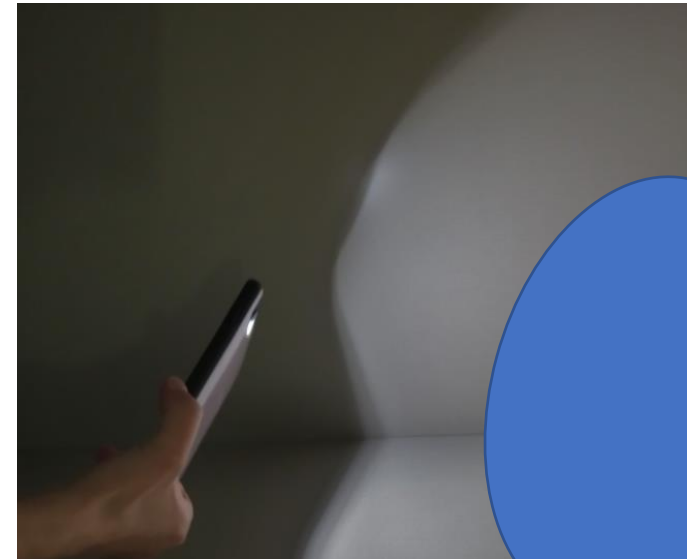
- 医療情報の報告管理に (HMIS)
- 薬剤の在庫管理に (e-LMIS)
- 治療ガイドラインのアルゴリズム
- 保健情報の発信、リマインダ
- 検査結果をSMSで報告
- オンライン母子手帳
- 市民の声 (患者の満足度やフィードバック)



IMCIガイドラインの例

照明として

- 停電時
- 夜間分娩



その他のICT技術の活用

遠隔医療

- オンライン診療解禁（？）
- 遠隔診断（読影）
- 遠隔手術？



近畿大学病院HPより

しかし、...

- 特にアフリカでは携帯電話の普及は目覚ましいが、インターネットの普及はまだまだ乏しい
- 今後拡大する可能性
 - イノベーションの博覧会にならないように
 - 保健医療本来の目的を忘れずに
 - 「適正技術」として普及を目指す

	携帯 Mobile-cellular phone subscriptions (Per 100 inhabitants)	インターネット Mobile-broadband subscriptions (Per 100 inhabitants)
Africa	82.3	33.1
Arab States	98.0	60.0
Asia & Pacific	104.6	76.6
CIS	148.2	87.7
Europe	122.7	99.9
The Americas	110.9	99.2

International Telecommunication Union (ITU)より
<https://www.itu.int/en/ITU-D/Statistics/Pages/stat/default.aspx>

国際協力における「現場主義」

日本の国際協力では重視

- 「寄り添って・・・」
 - 「顔の見える距離で・・・」
 - 「寝食を共にして・・・」
 - 「現場に身を置いて初めてわかる・・・」
 - 「信頼関係を築くには・・・」
-
- 開発途上国の
 - 住民の生活の「現場」、
 - 保健医療の「現場」、
 - 政策立案の「現場」
 - 「遠隔操作」への拒否感



開発協力大綱(2015)

理念

- 「相手国の自主性，意思及び固有性を尊重しつつ，**現場主義にのっとり**，対話と協働により・・・（中略）・・・**日本の開発協力の良き伝統**である。」

「現場主義」VS「遠隔操作」

：一見正反対の両者

- 私たちはどこへ向かうのでしょうか？
- オンライン（遠隔）とオフライン（現場・対面）の価値と使い分け、何がベストミックスなのでしょうか？

保健医療分野における オンライン・遠隔での技術協力

1. 何ができるのか？（可能性）、何ができないのか？（限界）
2. 保健医療分野の国際協力でICT技術を活用していく上で注意すべきこと
3. 現場主義とオンライン。今後どのような使い分け、どのようなバランスが求められるのでしょうか？